

要望書

長 様
教育長 様

2022年 1月〇〇日

私たちは農業や食の問題について活動している団体、加工製造業者、生産者、農業者、消費者です。

最近、農業や食の安全を脅かすゲノム編集作物が問題になっているため、要望書を提出させていただきます。何卒、ご理解ご協力くださいますようお願い致します。

パイオニアエコサイエンス社は、ゲノム編集トマト苗を開発し、無償配布を2022年に介護福祉施設に、2023年に教育機関に配布開始を計画しています。

国は、「ゲノム編集は遺伝子を切り取るだけで、他の遺伝子を組み込んでいないので、遺伝子組み換えでない」「自然界で起こる突然変異と変わらないので安全である」として、遺伝子組み換え作物や食品に課せられていた審査や規制を全て無くしてしまいました。

しかし、ゲノム編集は遺伝子組み換えと同様の遺伝子操作を行っており、抗生物質耐性菌の増殖等の問題があります。また大量の遺伝子破壊により、オフターゲットが起き、他の遺伝子破壊がもたらされることも分かっています。

その結果、新たな毒性やアレルギー、がん誘発物質の発生も確認され始めています。ヨーロッパやニュージーランドでは、遺伝子組み換えと同様に規制や安全性審査等がゲノム編集作物、食品に課せられています。しかしながら日本では、規制も安全性審査も表示もなく進められています。

実際にゲノム編集トマト苗が配布され栽培され、そのトマトを子どもたちや入所者が食することになりますと、健康への不安・心配があり被害が生じてからでは取り返しがつかない事になります。

また、周辺の農家へのゲノム編集交配や交雑による農業への被害も懸念されます。

徳島県においては食の安全安心推進条例で、「遺伝子組み換え作物の栽培で他の作物と交雑や混入の防止」が規定されており、ゲノム編集作物も遺伝子組み換えと同様の遺伝子操作をしていることから、同様に扱う必要性があります。

しっかりと安全性が確認・確立されるまでは、「予防原則」の観点からもゲノム編集作物の栽培や食品の流通もすべきではないと考えます。

以上の理由により、貴自治体内にある介護福祉施設や教育機関がパイオニアエコサイエンス社、配布予定のゲノム編集トマト苗を受け取らないように、また学校給食にもゲノム編集した材料は使用しないことを強く要望致します。

お手数ですが、別紙の回答書にて回答くださいます様お願い致します。

【要望書賛同団体・個人】

取りまとめ団体
食と農を守る会 徳島

代表 柴田 かずのり 憲徳

〒771-4502

徳島県勝浦郡上勝町旭中村 156

☎070-1946-3915

hiroko19561206magnolia@yahoo.ne.jp

[回答書]

要望書に対する貴自治体の対応を、お聞かせくださいます様よろしくお願ひ致します。

自治体名:

担当部署:

担当課:

連絡先:

以下の□に☑を該当する場合は記入してください。

ゲノム編集トマト苗を

受け取らない

受け取る

その他

選択の理由やコメントをお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

回答書は、ファックス又はメールにて下記宛てに2022年2月18日までにお送りください。

食と農を守る会徳島

代表 柴田 かずのり 憲徳

FAX : 050-3438-8680

hiroko19561206magnolia@yahoo.ne.jp